

TRD-1404H/TRD-2400H/TRD-8000/
TRD-8000H/TRD-9816H 対応

CMS

セントラルモニタリングシステム
運用方法

株式会社スリーディー

2010年2月

Ver2.2(060)

中央監視所での運用 CMS(セントラルモニタリングシステム)ソフトウェアの操作方法

CMS (Version2.2) は、1画面で 64 台のカメラを表示可能です。

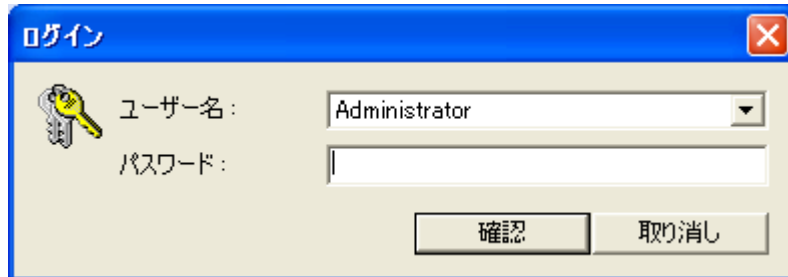
) 閲覧

1. 接続の仕方



1. デスクトップ上のアイコンをクリックし CMS を起動します。

(もしくは、スタートアップに登録し、OS 起動と同時に CMS 起動)



2. パスワード「1111111」を入力し、「確認」をクリックします。

ログイン ID:Administrator パスワード「1111111」

ログイン ID:User1 パスワード「1111111」

のいずれかでログインします。

他の ID では、一部の操作に権限がありません。

3. プログラムが起動し下図の画面が表示されます。右側に登録されているデジタルレコーダーのリストが表示されます。表示したいデジタルレコーダーのアイコンを画面の任意の位置に、ドラッグ&ドロップします。



選択したデジタルレコーダーに接続されているカメラの画像が表示されます。

DVR のアイコンの色が灰色の場合、接続が確立していません。接続が確立している DVR のアイコン DVR の文字は白色です。

2. 画面説明



2-1 画面表示パターン

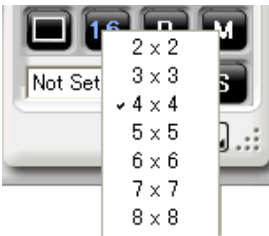
操作パネル枠非表示



単画面表示: 任意のカメラをクリックで選択後、このボタンをクリックすると、選択したカメラが単画面で表示されます。
 任意のカメラ画像上でダブルクリックすると、そのカメラ画像は単画面表示になります。
 再度クリックすると、元の表示に戻ります。



マルチ画面表示: クリックすると 16 分割で表示されます。

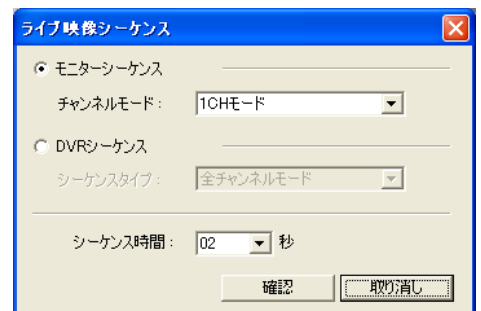


数字の上で右クリックすると、左図のようにサブメニューが表示されますので、任意のパターンをクリックで選択します。
 このボタンをクリックする度に、選択したチャンネル数の画面パターンで画面が切り替わります。



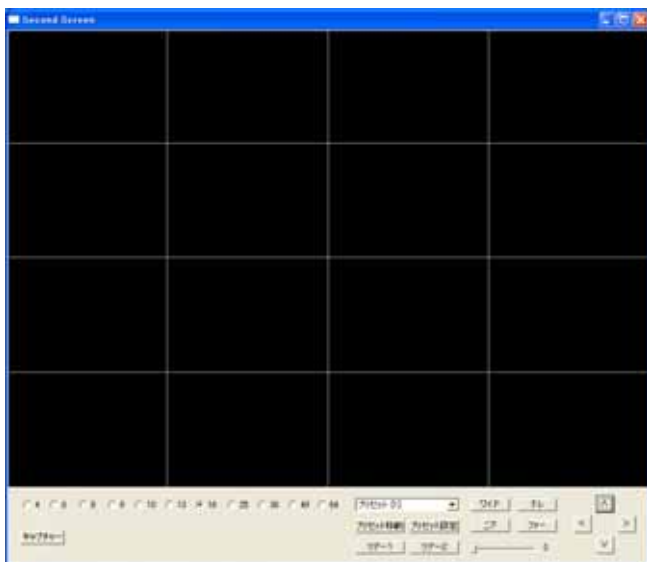
シーケンス表示: クリックすると、右図のウィンドウが表示されます。

モニターシーケンス: 選択したチャンネル数毎に表示切り替えます。
 DVR シーケンス: 接続されている DVR 毎に表示切り替えます。
 シーケンス時間: 表示を切り替える時間を設定します。
 デフォルト: 2秒






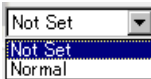
セカンドスクリーン表示: クリックすると第2ウィンドウが表示されます。



メインスクリーンのから、表示したい DVR のアイコンをドラッグ & ドロップします。
ライブ画像が表示されます。



スクリーンレイアウト管理  で設定した任意の表示パターンを選択して表示します。



何も設定していない場合は、「Not Set」と表示されます。

Normal は、16 分割モードです。



操作パネル枠を非表示にし、カメラ画像のみを表示する場合は、このボタンをクリックします。
再度クリックすると、操作パネル枠が表示されます。

2-2 機能ボタン



下記の各種環境設定を行えます。



- ・ストレージ: 各種ファイル(静止画、動画、設定ファイル)の保存先
- ・OSD 設定: 画面上の文字の色やサイズの変更、年月日の表示形式
- ・ボーダー設定: 画面表示のボーダーラインの色
- ・警報出力設定: 電源 OFF 時、DVR エラー発生時、アラーム出力の ON/OFF
- ・バックアップデータの選択(環境設定、アドレス帳、スクリーンレイアウト設定、ユーザーグループ設定)
- ・ライブポップアップ設定: イベント発生時にポップアップするイベントを選択
- ・ディスプレイ設定: 解像度 720 > 704 へのコンバート設定、ライブスクリーンレイアウト他
- ・再生設定
- ・言語設定



接続するデジタルレコーダーを登録します。IP アドレス、ログイン ID 他。



印刷します。



静止画を保存します。クリックした時の画面表示のまま保存されます。

1画面のみ保存する場合は、保存するカメラ画像を単画面表示した後、このボタンをクリックしてください。



画質を調整します。(CH 別、全 CH 選択可)



ローカルコンピュータ(閲覧中の PC)にライブ映像を録画します。



ユーザー及びグループ管理:ユーザーやグループの追加・削除を行えます。



スクリーンレイアウト管理:表示する録画装置・カメラ画像・分割パターンを任意に設定・登録します。

3. 各種設定

3-1 環境設定



3-1-1 ストレージ



キャプチャファイル(静止画)、録画ファイル(動画)、DVR 設定ファイルのデフォルトの保存先は、左図の通りです。

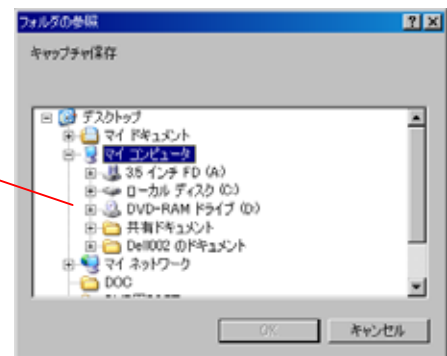
静止画:Cドライブ>Temp>Image

動画:Cドライブ>Temp>Video

設定:Cドライブ>Temp>Setup

各フォルダは、本プログラムをインストールした際にコンピュータに生成されます。

任意の場所へ保存先を変更する場合は、 をクリックし、フォルダの参照を行い、別の保存先を指定してください。



をクリックすると、ディレクトリが展開しますので、任意のフォルダを表示・選択し、 をクリックします。

3-1-2 OSD 設定



OSD 表示

スクリーンに使用する文字(フォント)の種類とサイズ、色を選択できます。

デフォルトは、以下のとおりです。

フォントサイズ:10 太字

色:からし色

デフォルトでは、「時間」「解像度」「チャンネル/タイトル」の3項目が表示されるようになっています。

非表示にする場合は、該当項目の「レ」マークはついている をクリックしてチェックを外してください。

3-1-3 ボーダー設定



デフォルトは、以下のとおりです。

幅:1(ピクセル)

色:白

任意の幅と色に変更してください。

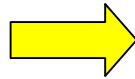
3-1-4 警報出力設定



デフォルトは、アラーム出力は無効です。

アラーム出力の をクリックすると、各項目が有効になります。

以下の3項目について、設定できます。



アラーム出力

- ・電源 OFF
- ・DVR エラー

音効果

- ・システム音
- ・音源ファイル

音継続時間 30 秒(デフォルト)



3-1-5 バックアップ設定



バックアップできるデータは以下のとおりです。

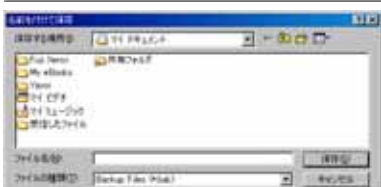
- ・環境設定(保存先、ボーダー、アラーム出力)
- ・アドレスブック
- ・スクリーンレイアウト
- ・ユーザー & ユーザーグループ

デフォルトは、全項目選択されています。

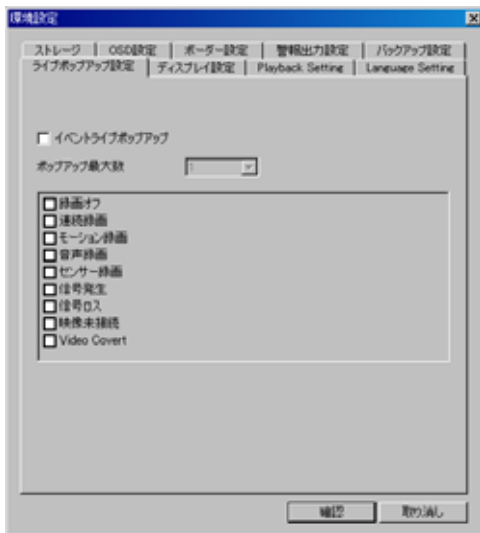
チェックされていない場合は、保存する項目の をクリックするとチェックが入ります。「保存」をクリックすると、「名前をつけて保存」のウィンドウが表示されます。保存先を指定し、ファイル名を入力後、「保存」をクリックしてください。

保存が完了すると、「バックアップの保存に成功しました」とメッセージが表示されます。

設定したファイルは大切に保管し、必要に応じて、読み込みを行ってください。



3-1-6 ライブポップアップ設定



デフォルトは、イベントライブポップアップは無効です。

イベントライブポップアップの をクリックすると、各項目が有効になります。ポップアップ表示の最大数と、表示する内容を選択できます。

- ・録画オフ
- ・連続録画
- ・モーショ記録画
- ・音声録画
- ・センサー録画
- ・信号発生
- ・信号ロス
- ・映像未接続
- ・ビデオコンバート

3-1-7 ディスプレイ設定



ピクセルサイズコンバート

カメラ画像が 720 ピクセルの場合、704 ピクセルに変換する機能です。

録画装置は、最大幅 704 ピクセルのため、720 ピクセル画像は左右がカットされます。その場合は、この機能を有効にしてください。

ビデオフィルター設定

- ・デインターレース
- ・デブロックフィルター
- ・デブロアフィルター (デブロックフィルターを有効後、設定可)
- ・ガウスフィルター: 0.1 ~ 1.0 (デフォルト: 0.3)
- ・シャープフィルター: 0 ~ 255 (デフォルト: 5)

ライブスクリーンレイアウト

ライブスクリーンレイアウト管理で設定した内容がリスト表示されます。

表示設定

各メッセージ等の表示のフォントを設定できます。

3-1-8 再生設定



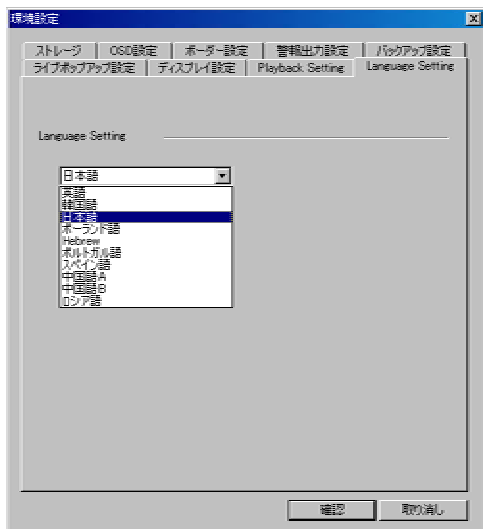
垂直表示モード

再生時のカメラ画像表示位置を変更できます。

例: カメラ画像は、CH1 と CH3 のみの場合、垂直モードを有効にし、横に並べて表示可能です。



3-1-9 言語設定



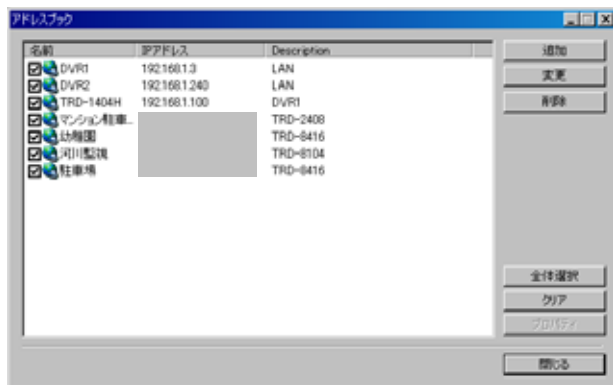
表示に使用する言語を選択できます。

デフォルトは、ソフトウェアのインストール時に選択した言語です。

3-2 アドレス帳



接続する録画装置の IP アドレス等を登録します。



「追加」をクリックします。

「アドレスブックを追加」画面が表示されます。

「名前」には、任意の名前を入力します。

「情報」欄への入力は任意です。

DVR アドレス

アドレス: 録画装置の IP アドレスを入力します。

例:

LAN 内に設置した録画装置のアドレスが、「192.168.1.100」の場合、「アドレス」のテキストボックスに「192.168.1.100」とを入力します。

ポート: 録画装置に設定したポート番号を入力します。

デフォルトは、「2000」です。

カメラ数: 録画装置のカメラ入力数を選択します。

ユーザー名及びパスワード

録画装置に設定したネットワークユーザー名及びパスワードを入力します。

ネットワーク管理者のログイン情報は以下のとおりです。

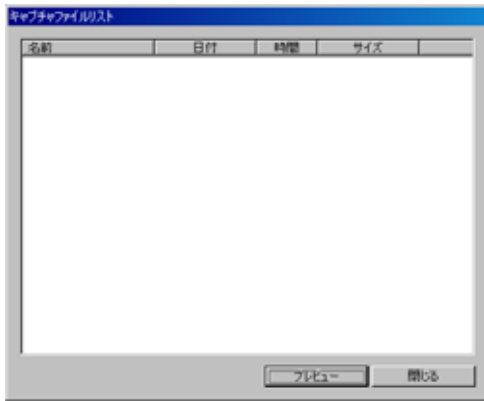
ネットワーク管理者ユーザー名: user1

パスワード: 1111111 (半角)



登録済みの録画装置の接続情報を変更するには、「変更」をクリックして、必要箇所を変更してください。

3-3 印刷



表示しているスクリーンを、閲覧しているコンピュータに接続されているプリンターで印刷します。

クリックすると、今までに静止画保存した画像がリスト表示されます。

キャプチャファイルがない場合は、リストにはファイルはありません。

キャプチャファイルは、Cドライブ>Temp>Imageフォルダにあります。

印刷するファイルをクリックして選択し、「プレビュー」をクリックします。



「タイトル」及び「メモ」欄には、テキスト入力できます。

それぞれ入力後、「印刷」をクリックします。

コンピュータにインストールされているプリンターの画面が表示されますので、印刷してください。

印刷しない場合は、「閉じる」をクリックします。

3-4 静止画の保存



クリックと同時に、閲覧中の画面がそのまま、静止画が保存されます。保存先は、環境設置の「ストレージ」で設定したフォルダです。デフォルトは、Cドライブ>Temp>Imageです。

ファイル名は、以下のとおりです。

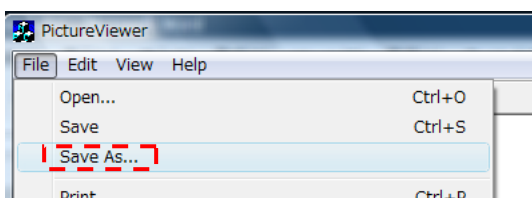
yyyymmddhhmm.bmp

年・月・日・時・分 ビットマップファイル

表示されているカメラ画像の「明るさ」「コントラスト」「飽和度」「色相」「ガンマ」等を調整し、保存・印刷等可能です。

キャプチャファイルに名前をつけて保存する場合は、

メニューバーの「File」>「Save As...」をクリックし、任意のファイル名をつけて保存してください。



3-5 画質調整



カメラ画像の画質を調整できます。

3-6 録画



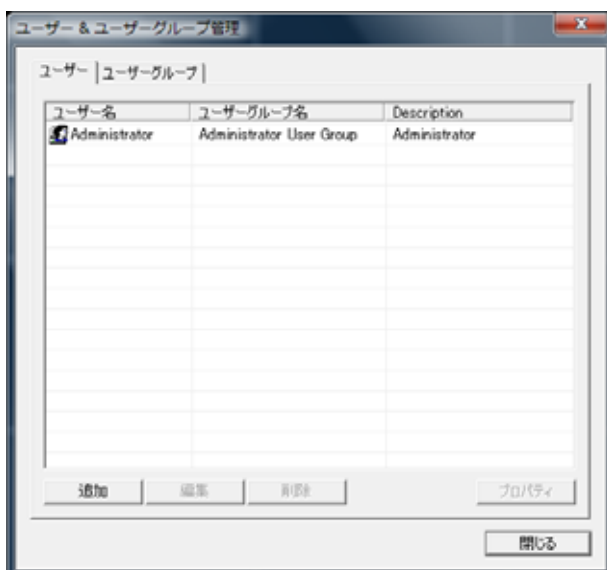
閲覧しているコンピュータに動画を保存します。このボタンをクリックすると、画像の右下に、「REC」の赤い文字が表示されます。

動画ファイルの保存先は、C ドライブ > Temp > Video フォルダです。

再度このボタンをクリックすると録画を停止します。

リモート録画した画像の再生については、「再生」の項を参照してください。

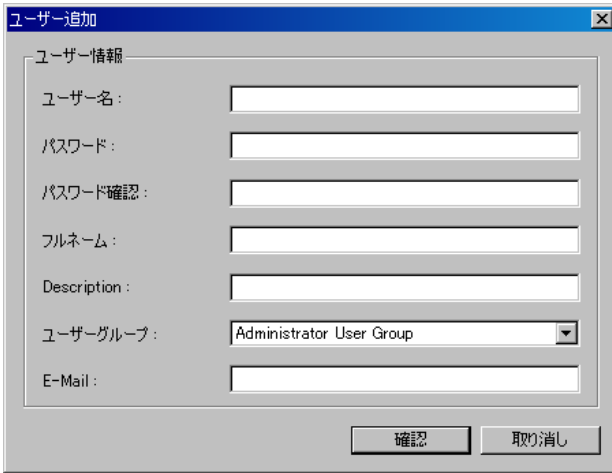
3-7 ユーザー & ユーザーグループ管理



デフォルトでは、管理者「Administrator」が登録されています。

その他のネットワークユーザーを登録するには、「追加」をクリックします。

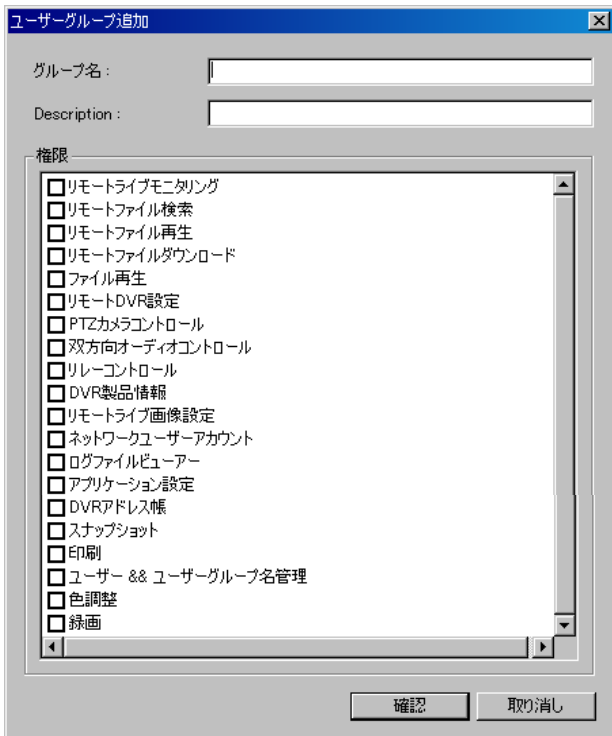
ユーザーの追加



ユーザー名
パスワード
パスワードの確認

などを入力します。

ユーザーグループを選択します。
管理者権限以外のユーザーグループは、任意に設定します。



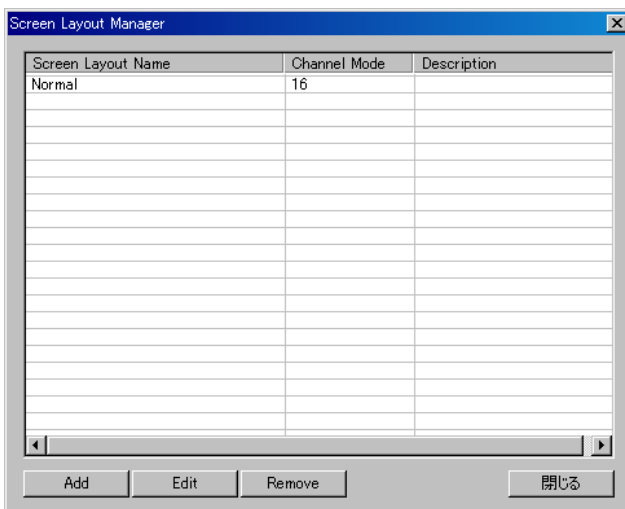
「グループ名」には、任意の名前を入力します。
そのグループに与える権限を設定します。
任意の項目の をクリックし、チェックを入れてください。

「確認」をクリックします。

3-8 スクリーンレイアウト



カメラ画像を表示する画面のレイアウトを登録できます。
デフォルトは、カメラ 16 チャンネルの 4×4 分割モードが登録されています。

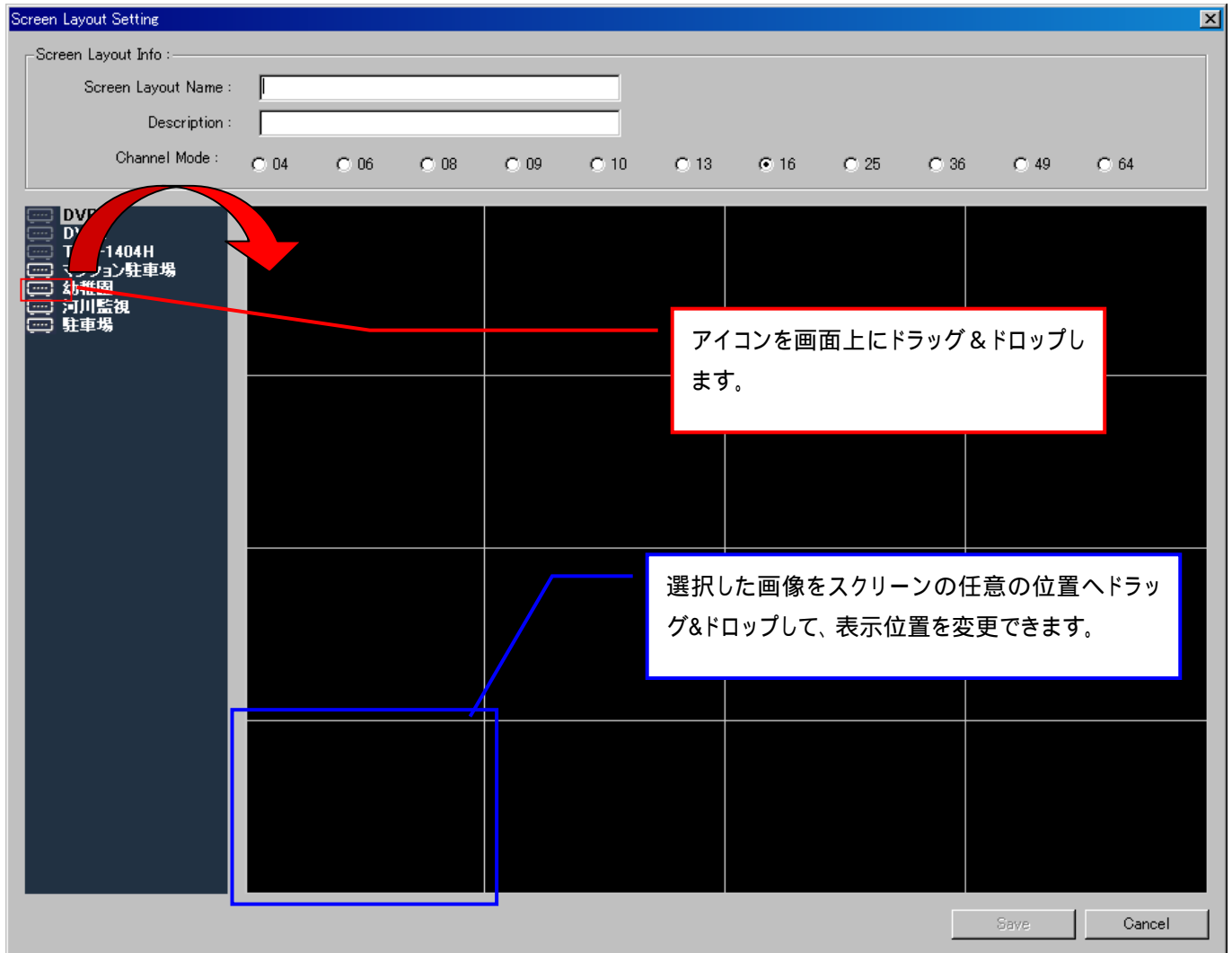



Screen Layout Name	Channel Mode	Description
Normal	16	


「Add」(追加)をクリックします。


スクリーンレイアウト設定用の画面が表示されます。


スクリーンレイアウト名、情報(任意)を入力し、任意のチャンネルモードを選択します。



06:  6画面分割表示: 大きな1画面と小さな5画面で表示されます。

08:  8画面分割表示: 大きな1画面と小さな7画面で表示されます。

10:  10画面分割表示: 大きな2画面と小さな8画面で表示されます。

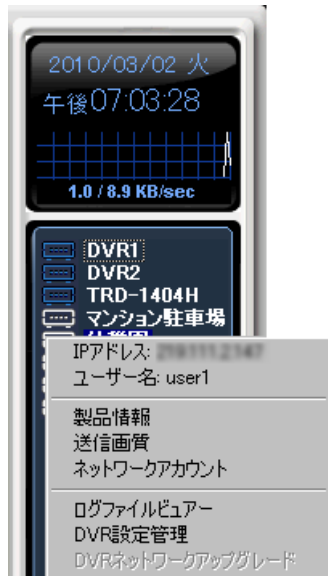
13:  13画面分割表示: 大きな1画面と小さな12画面で表示されます。

その他、04(2x2)/09(3x3)/16(4x4)/25(5x5)/36(6x6)/49(7x7)/64(8x8)は、通常の分割パターンです。

3-9 DVR 設定

接続している録画装置の製品情報、伝送画質、ネットワークアカウント等の確認・設定が可能です。

- 画面右の録画装置リストの中から、確認する録画装置のアイコン上で右クリックをし、サブメニューを表示します。
- 「製品情報」をクリックすると、下図の画面が表示されます。



以下の情報を確認できます。

- ソフトウェアバージョン
- ハードウェアバージョン
- ビデオモード:NTSC
- ハードディスク情報
 - ・ 総容量
 - ・ 使用済容量
 - ・ 空き容量
 - ・ 録画ファイル開始日時
 - ・ 録画ファイル最終日時
- ネットワーク設定:イーサネット
- 上書き設定:ON

- 伝送画質のタブをクリックすると、下図の画面が表示されます。



録画装置の機種により、設定不可能な項目があります。

- ・ イメージ解像度:704x480、704x240、352x240
- ・ イメージ品質:高、中、低
- ・ フレームレート:高、中、低

リモート画像の動きを優先する場合は、解像度を小さくし、画質を下げてください。フレームレートは上げてください。

リモート画像の画質を優先する場合は、解像度を大きくし、画質を上げます。フレームレートは下げてください。

変更後、「確認」をクリックします。

- ネットワークアカウントのタブをクリックすると、下図の画面が表示されます。



デフォルトのネットワークユーザーは、4ユーザーです。

パスワード及び、権限はシステム管理者へ確認してください。

追加をクリックすると、アカウント追加画面が表示されます。



任意のユーザー名、パスワードを入力し、権限を設定後、「確認」をクリックします。

追加したユーザー名とパスワードを忘れないよう保管してください。

ユーザーを削除する場合は、ユーザーを選択後、「削除」をクリックします。

) 再生方法



DVR 検索再生タブをクリックします。
検索・再生する画像のあるデジタルレコーダーのアイコンをメイン画面にドロップします。

下図のように、カレンダーが表示されます。
録画ファイルが存在する時間帯に色の帯が表示されます。

帯の色は次の通りです。

帯の色： 緑 = 連続録画、赤 = モーション録画、青 = センサー録画、黄色 = 音声録画

ファイル再生方法には、日時から再生する方法と、ファイルリストから再生する方法の2通りあります。

1. 「ステータス」タブからの検索・再生

カレンダーから月日を指定 時分表のスライダーで「時」を指定 「分」を指定 再生

「映像/音声」「映像」「音声」タブのいずれかをクリック

「全体」「モーション」「センサー」「音声」タブのいずれかをクリック

時間のスライダーを任意の時間にドラッグして移動させ、「再生」をクリック

時	分	時	分
0	0	12	0
0	30	12	30
0	60	12	60

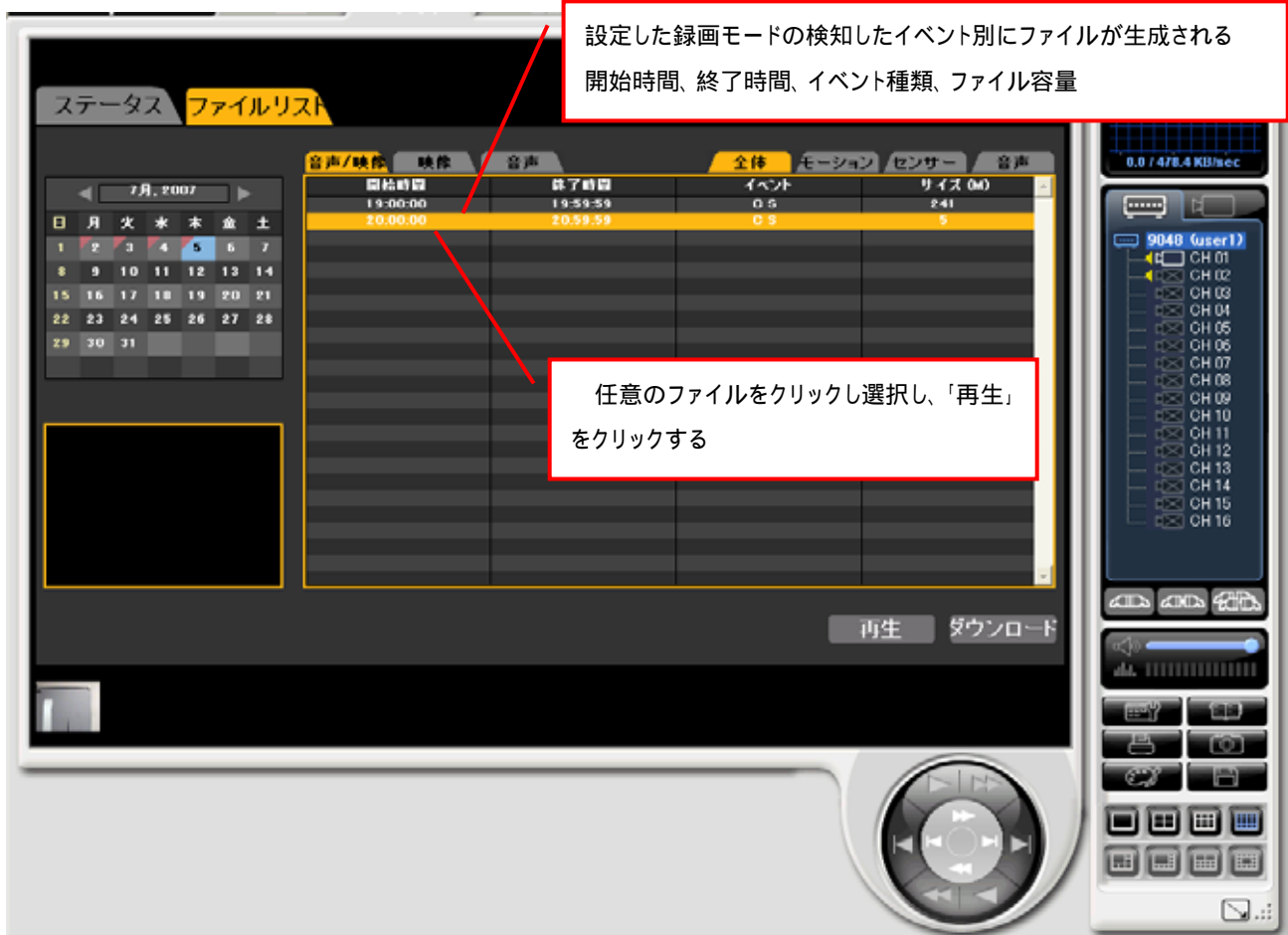
再生 ダウンロード



画像が再生されます。



2. ファイルリストからの検索・再生



画像が再生されます。

) ダウンロード



DVR 検索タブをクリックします。
ダウンロードする画像のあるデジタルレコーダーのアイコンをメイン画面にドロップします。

下図のように、カレンダーが表示されます。
録画ファイルが存在する時間帯に色の帯が表示されます。

帯の色は次の通りです。

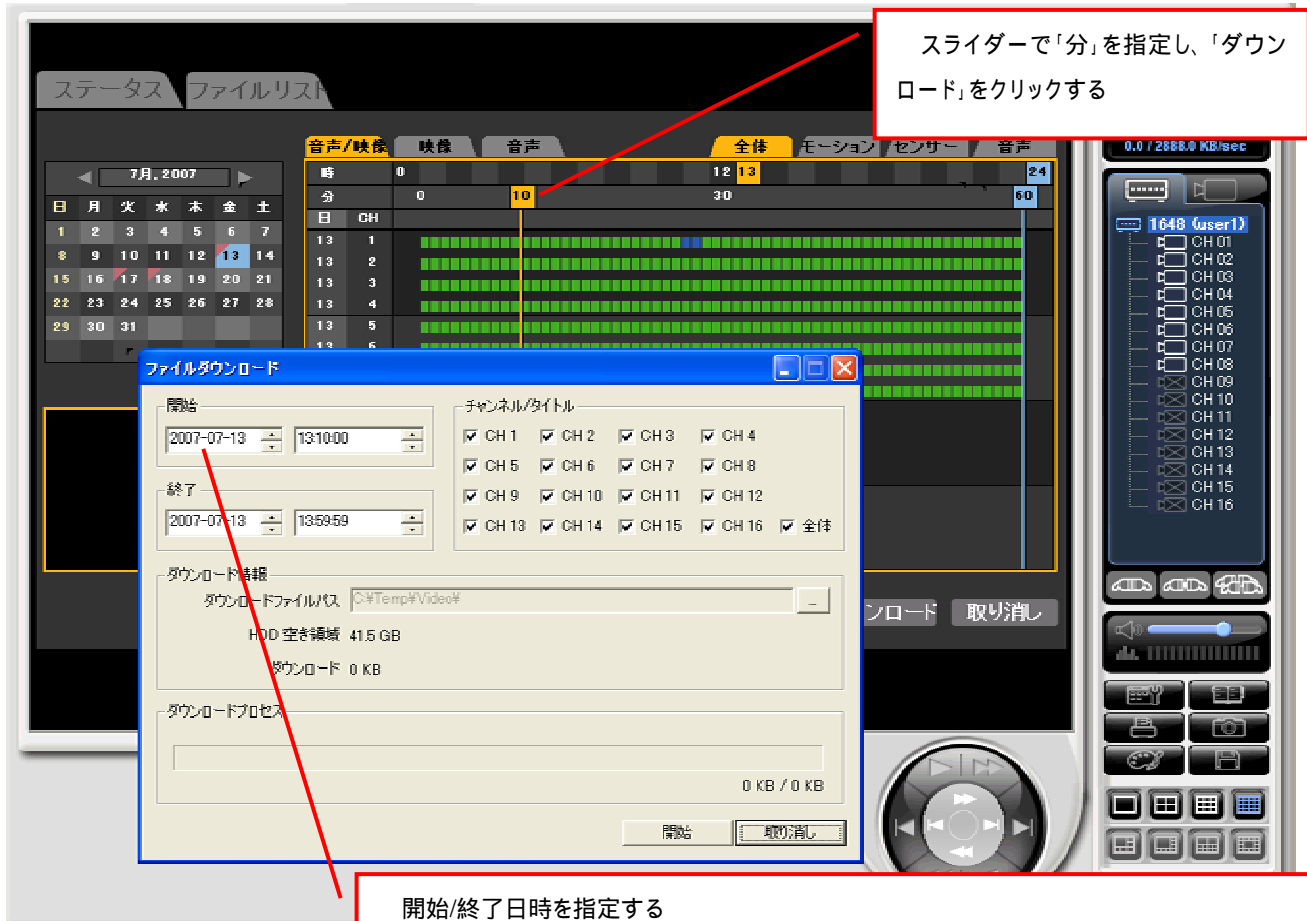
帯の色： **緑** = 連続録画、**赤** = モーション録画、**青** = センサー録画、**黄色** = 音声録画

方法には、日時からダウンロードする方法と、ファイルリストからダウンロードする方法の2通りあります。

1. 「ステータス」タブから日時を指定してダウンロード

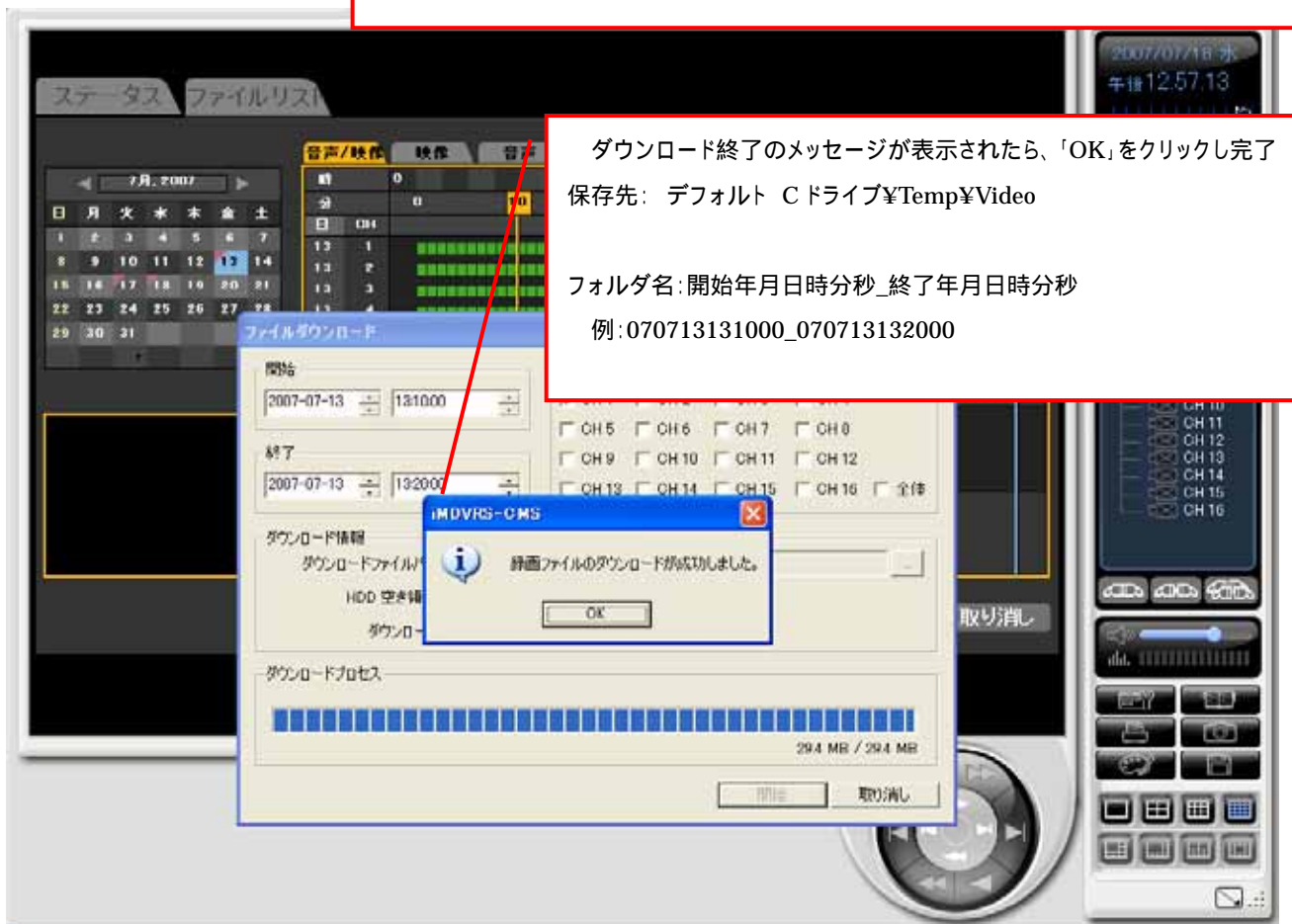
再生と同様に、カレンダーから月日を指定 時分表のスライダーで「時」を指定 「分」を指定 ダウンロード





開始/終了日時を指定する

ダウンロードするチャンネルのレ点を残し、ダウンロードしないチャンネルのレ点を外す
保存先を指定後、「開始」をクリックする



) ビデオロス検知

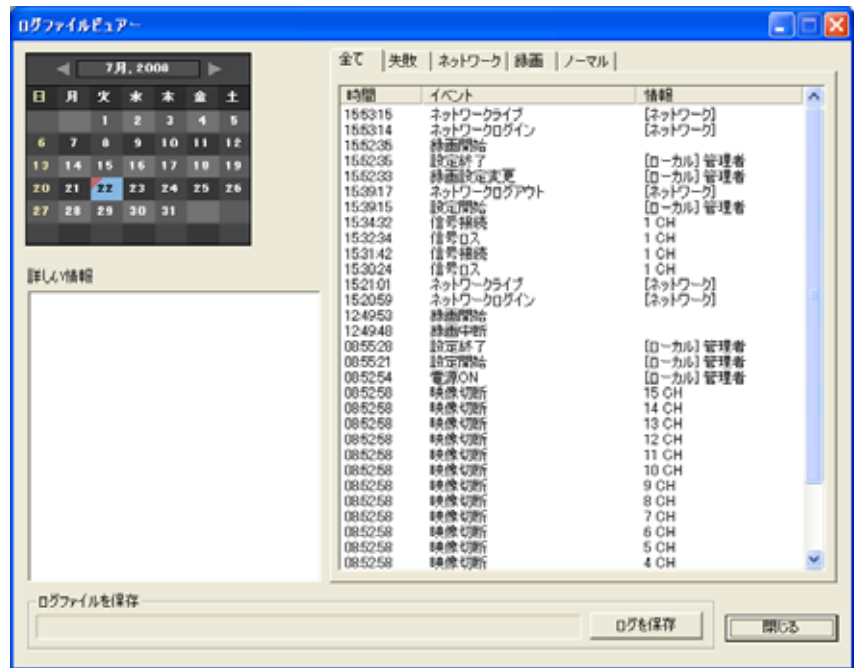
映像信号が途絶えた場合、カメラが接続されて信号を検知した場合など、CMS 画面にアラート表示されます。
「OK」をクリックすると、画面は消えます。



イベントログビューアー



DVR アイコン上で右クリックし、サブメニューから
ログファイルビューアーを選択すると、
これまでのログリストを確認できます。



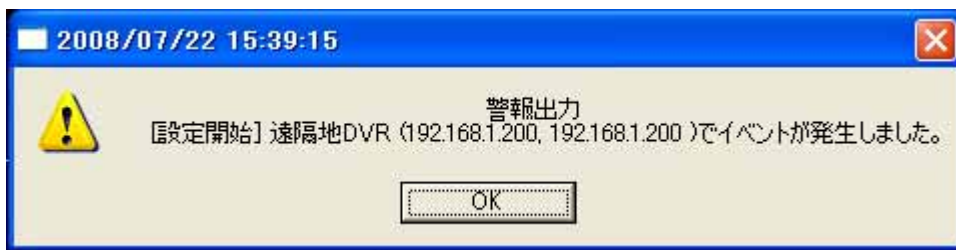
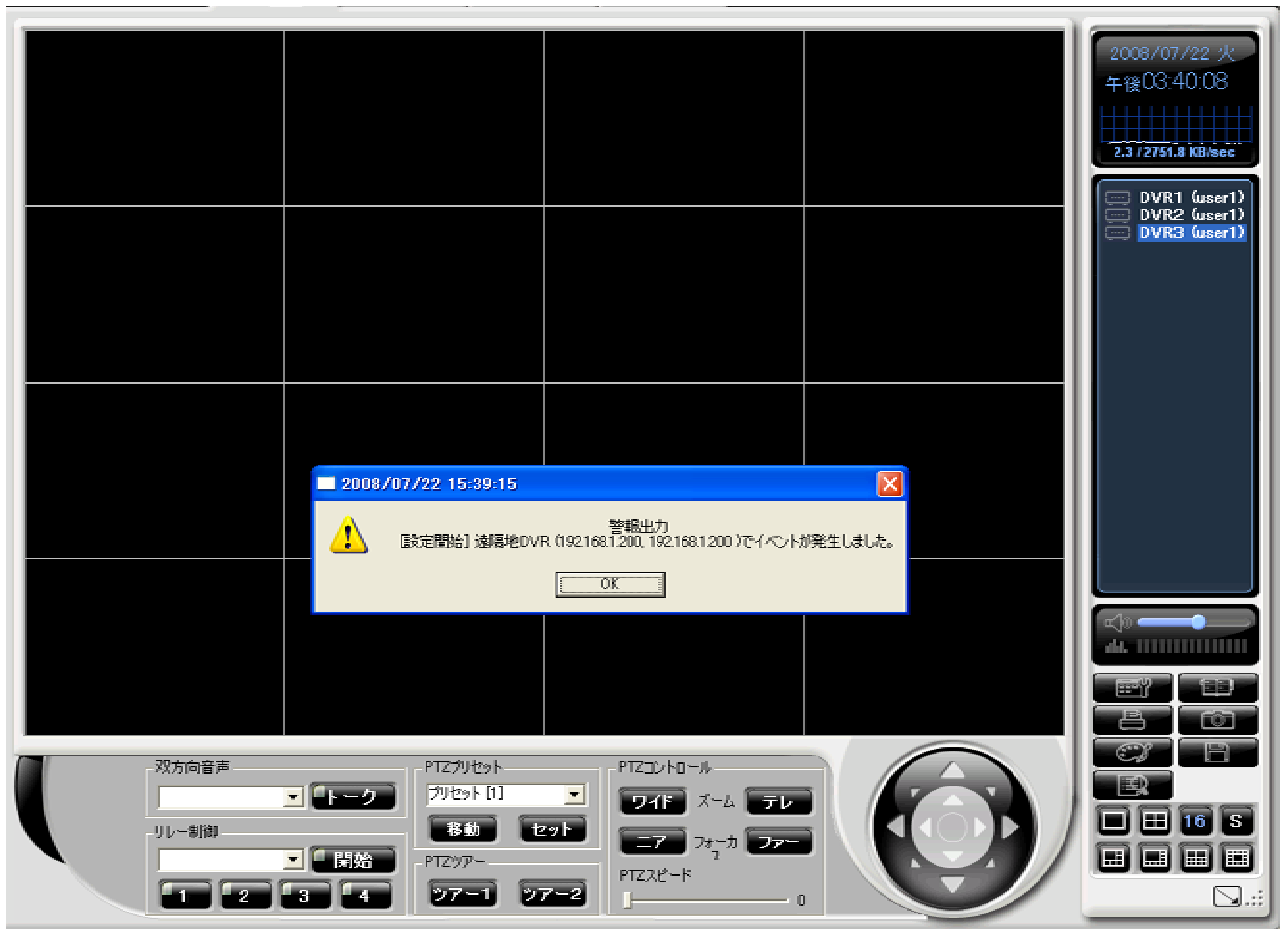
停電等で電源が突然切れた場合は、電源オフのログが残りません。電源が再投入された場合の電源オンのログは残ります。

本体前面ボタンやリモコン等を使用して電源を切った場合は、ログが残ります。

) DVR 設定変更検知

ローカルで DVR の設定変更を行うため管理者がログインした場合、その警告が表示され、リモート接続は自動的に切断されます。警告メッセージは、DVR 毎に別ウィンドウで表示されます。

伝送は切断されているため映像は再表示されませんので、いったんウィンドウを閉じて、再度、プログラムを起動してください。



画面を閉じ、再度プログラムを起動してください。

以上